

# NewsRelease

2019年6月20日  
株式会社 AGS コンサルティング

株式会社 AGS コンサルティング（以下「当社」）、株式会社地域経済活性化支援機構（以下「REVIC」）、株式会社 ANA 総合研究所（以下「ANA 総合研究所」）、株式会社エヌ・ティ・ティ・アド（以下「エヌ・ティ・ティ・アド」）、凸版印刷株式会社（以下「凸版印刷」）が出資した「株式会社観光産業化投資基盤（以下、TiPC）」により、地方へのインバウンド誘客や地域の観光消費額の増加を目的とした「観光遺産産業化投資事業有限責任組合（以下、「観光遺産産業化ファンド）」を2019年6月19日に設立いたしましたのでお知らせいたします。

2020年の訪日外国人旅行者数4,000万人、訪日外国人旅行消費額8兆円等の達成のために、政府一丸、官民を挙げて取り組んでいく必要があるところ、観光庁と REVIC においては、2014年5月に締結した包括的連携協定に基づき、観光を軸とした地域活性化に向けた連携を図ってきました。

観光遺産産業化ファンドは、訪日外国人旅行者にとって「日本ならではの」魅力を持つ観光資源である「観光遺産（文化遺産・自然遺産）」を活用する観光事業者に対し、出資及び経営人材のハンズオン支援等を通じて、地方へのインバウンド誘客及び地域の観光消費額増加等を図ることを目的としております。

観光遺産産業化ファンドの運営は、当社、REVIC、ANA 総合研究所、エヌ・ティ・ティ・アド、凸版印刷が出資した TiPC が行います。

当社は、豊富な経営コンサルティング実績をいかし、地域経済の活性化に資する事業者を支援するファンド等の GP 業務を実施する他、複数のファンドの運営サポート業務等を行っております。

この度、観光遺産産業化ファンドの目的に賛同し、当社の知見を活用することで、地方へのインバウンド誘客や地域の観光消費額の増加に貢献することが出来ると判断し、TiPC への出資をすることといたしました。

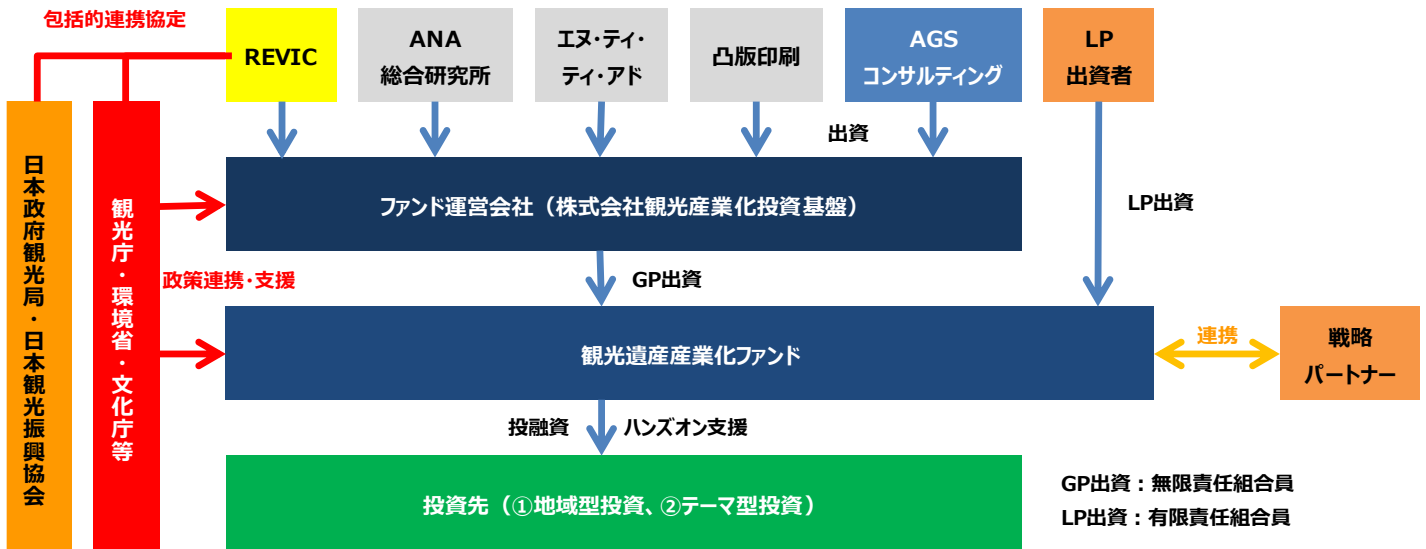
観光遺産産業化ファンドの概要は以下のとおりです。

名称	観光遺産産業化投資事業有限責任組合
ファンド総額（予定）	30 億円
設立時組合員構成	株式会社北洋銀行（北海道）、株式会社岩手銀行（岩手県）、株式会社横浜銀行（神奈川県）、株式会社山梨中央銀行（山梨県）、株式会社ゆうちょ銀行、株式会社観光産業化投資基盤
戦略パートナー	株式会社 ANA 総合研究所、WILLER 株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、凸版印刷株式会社、日本航空株式会社、東日本旅客鉄道株式会社
設立日	2019 年 6 月 19 日
存続期間	8 年間
業務運営者	株式会社観光産業化投資基盤（TiPC）
備考	本ファンドは引き続き、出資地域金融機関や連携事業者を募り、本年末までに募集を終了する予定です。

観光遺産産業化ファンドの業務運営者である TiPC の概要は以下のとおりです。

名称	株式会社観光産業化投資基盤
設立日	2019 年 1 月 24 日
所在地	東京都千代田区
資本金	2,500 万円（※2019 年 5 月末日時点）
株主	株式会社地域経済活性化支援機構、株式会社 ANA 総合研究所、株式会社エヌ・ティ・ティ・アド、凸版印刷株式会社、株式会社 AGS コンサルティング
代表取締役	大田原博亮 (株式会社地域経済活性化支援機構マネージング・ディレクター)

【観光遺産産業化ファンドのスキーム】



以上

<お問合せ・ご相談の連絡先>

株式会社 AGS コンサルティング

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-9-5 大手町フィナンシャルシティノースタワー24 階

TEL : 03-6803-6710